

## 35歳以下の部 医師部門

受賞者： いしだ てつろう 石田 哲朗 (31歳)

日本医療大学病院 精神科講師

### 地域医療から社会的な課題まで 広範な研究テーマで人々のこころの健康を支える



石田氏は、精神科医として神経疾患や精神疾患の臨床、研究に携わっている。社会的問題になっている自殺に関して、特に性同一性障害者（GID）のカミングアウトと自殺率の相関性に関する研究を進め、他に類を見ないものとなっている。この研究により、GID当事者の自殺リスクとカミングアウトの範囲には相関性があり、「友人・パートナー」、「学校・職場」に対してカミングアウトがなされていると自殺リスクが低減されることが顕著であった。GID当事者は、その心の内を、人に打ち明けられない辛さ、抱え込むことによるストレスによって生きづらさを感じ、人生に悲観してしまうことも少なくない。石田氏の研究発表によって、性的マイノリティの人々の抱えている気持ちを社会が受け止め、その権利を擁護し、幅広く社会全体で受容しようという動きにもつながっている。

石田氏は、認知症やてんかん・高次脳機能障害の診療にも従事しており、特に脳梗塞や水頭症などの疾患とそのリハビリテーションに注力している。また、遺伝性疾患などのいわゆる難病にも造詣が深い。さまざまな課題や疾患を抱えた人々があまねく豊かな生活が送れるよう、入院医療のみならず在宅医療も充実させ地域全体でサポートしていけるよう、研究を進め、多数論文を発表している。

推薦者：村山 友規 日本赤十字社 釧路赤十字病院 精神科部長